



質疑及び一般質問

令和7年11月27日、28日、12月2日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。
各議員の質疑の中から1問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK!  白熱議論を映像でご覧ください!
下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

11月27日(木)



川野辺 達也 自由民主党
(邑楽郡)

▶ ランサムウェア^{※1}によるサイバー攻撃について

Q ランサムウェアによる攻撃の脅威に対し、群馬県庁において、県民の情報を守る上で、どのような対策を講じているか。

A DX推進監

群馬県では、国のガイドラインに基づき「群馬県情報セキュリティポリシー」を策定し、ガイドラインの改定に合わせて随時見直してきた。本ポリシーに基づき、物理的、技術的、人的の3つの観点からセキュリティ対策を実施している。県民の財産とプライバシーを保護し、安定した行政運営を確保するため、今後も情報セキュリティ対策と体制の強化、職員の意識向上に取り組んでまいりたい。



金子 渡 つる舞う
(渋川市)



▶ 上毛かるたの普及について

Q 「やるぞ！バズるぞ！上毛かるたプロジェクト」の実施状況と来年度の方向性について伺いたい。

A 知事

プロジェクトのメイン事業として、100万円分の夢をかなえますプロジェクトを始める。県大会優勝チームがみんなの夢をかなえ、学校でヒーローになれば、子どもが上毛かるたを始めるきっかけになるのではないかと期待している。県大会を盛り上げ、子どもたちの挑戦する心を育みたい。来年度もできることは全てやり、群馬の宝を次代へ引き継ぐため、皆さんと力を合わせ、取り組んでまいりたい。



大林 裕子 自由民主党
(北群馬郡)



▶ 介護・福祉現場を取り巻く状況と県の支援について

Q 介護・福祉の状況を知事としてどのように捉えているのか、県としてどのような対応を考え国に対して働きかけていくのか伺いたい。

A 知事

介護・福祉の現場を取り巻く環境は非常に厳しい状況だと認識している。10月に、現場の深刻な状況と支援に関する要望を直接お伺いした。県としては国の総合経済対策を最大限に活用し、質の高いサービスが安定的に提供されるよう、しっかりと準備を進めていく。今後も引き続き現場で働く皆さんの声に耳を傾けながら、必要ならば厚生労働大臣を何度も訪問し、国に必要な対応を求めてまいりたい。



松本 隆志 自由民主党
(館林市)



▶ 館林大島工業団地造成について

Q 地域のまちづくりに大きな影響を与える工業団地の分譲について、公平性を担保しつつ、どのように地元市町村の意向を取り入れるか。

A 企業管理者

分譲企業の選定は公募によるが、地域社会への貢献や地域経済への波及効果を選考の重要な観点とし、地元市町村の職員にも選定委員に加わっていただくことで、地域のまちづくりに配慮している。企業局としては、企業の設備投資意欲を逃さぬよう、また、地域の魅力あるまちづくりに貢献できるよう館林市と協力しながら、館林大島工業団地の早期造成、早期分譲に向けて全力で取り組んでまいりたい。

11月28日(金)



秋山 健太郎 自由民主党
(太田市)



▶ 太田市中心市街地の渋滞対策について

Q 令和7年4月に実施した太田市街地渋滞対策実証実験の結果と今後の対応について伺いたい。

A 県土整備部長

実証実験により、リアルタイムな渋滞情報を提供することで、周辺道路網への交通分散が促され、渋滞緩和に効果があることが確認できた。今後の本格的な運用においては、交通管理者と連携し、信号制御や迂回誘導など多角的な対策を講じられるよう検討し、引き続き、局所的な渋滞が発生している箇所における対策を行うなど、道路交通の適正化を図ってまいりたい。



本郷 高明 リベラル群馬
(前橋市)



▶ TUMO Gunmaで学んだ成果の将来的な地域展開について

Q TUMO Gunmaの将来の産業振興における人材育成の位置付けと、県全体の発展に向けた展望を伺いたい。

A 知事

TUMO Gunmaは、中高生が世界標準の知識と技術を身に付け、将来のデジタル・クリエイティブ産業を支える人材を育成する拠点である。県内どこでも最先端の学びに無料でアクセスできる環境整備を進め、tsukurunサテライトやTUMO Boxなど地域展開も推進する。若者や女性に魅力的な就業機会を生み出す新産業の創出に今後もしっかりと取り組んでまいりたい。



今井 俊哉 自由民主党
(太田市)



▶ 自営業の事業主へのセーフティネットの充実について

Q 農業を含む自営業の事業主のセーフティネットを従来の制度よりも充実させることについて、知事の所見を伺いたい。

A 知事

自営業を営む方のセーフティネットの充実には大いに共感する。国でも徐々に制度の充実を図っているが十分ではない。全国一律に充実が図られるべきであり、今後は「群馬県からの提言」として、様々な形で国に対し働きかけていきたい。予期せぬ病気やケガで仕事が続けられなくなった方やそのご家族で、生活についてお困りのことがあれば、無理せず、お住いの福祉の窓口にご相談いただきたい。



亀山 貴史 自由民主党
(桐生市)



▶ 渡良瀬幹線道路の進捗状況について

Q 渡良瀬幹線道路(新里笠懸工区)の進捗状況について伺いたい。



A 県土整備部長

現在、道路や跨線橋の設計などを進めている。最大の課題は上毛電鉄89号踏切の取り扱いで、跨線橋設置時は踏切除却に努めるべきとされているが、地元は存続を求めていたため、跨線橋整備と既存踏切の存続を両立させるべく関係機関との協議に時間を要している。引き続き協議を重ね、設計をまとめた上で、今年度中に地元説明会を開催し、来年度には都市計画決定の手続きに着手したいと考えている。

12月2日(火)



須藤 和臣 自由民主党
(館林市)



▶ 館林市内の廃棄物不適正処理事案について

Q 本事案において、改善命令の履行期限内に改善されない場合の措置命令や行政代執行について、知事の考え方を伺いたい。

A 知事

こういった不適正処理事案には、法令に基づき厳正に対処することが、県民の安全安心を守るために何よりも大事だと考える。改善命令に対して命令違反があれば、告発を検討することになる。措置命令・行政代執行については、県民の生命・財産への影響等を考慮し、速やかにその実施を判断する。今後も、地元市町村や関係機関と連携しながら、法令に基づき厳正に対処してまいりたい。



水野 俊雄 公明党
(前橋市)



▶ ナショナルサイクルルートについて

Q 利根川自転車道を核としたナショナルサイクルルート指定に、赤城山周辺のサイクリングルートとの連携が考えられるが、いかがか。



A 県土整備部長

群馬県では、「赤城山1周ルート」を国のモデルルートに登録できないか、沿線自治体と調整を始めたところである。今後も、沿線自治体に加え、観光協会や自転車関連企業などの民間団体とも協力しながら、安全で快適な走行環境の整備や、観光資源との連携強化、情報発信の充実に努め、利根川自転車道を核としたナショナルサイクルルート指定に向けた取組を着実に進めてまいりたい。



井田 泉 自由民主党
(佐波郡)



▶ クビアカツヤカミキリによる被害状況と対策について

Q クビアカツヤカミキリによるサクラの被害が進行しているが、県内の被害状況と対策について伺いたい。

A 環境森林部長

今年度の被害本数は前年度比33%増の13,927本で、うち約85%がサクラである。被害発生地域は27市町村となった。これまで市町村が行う薬剤注入への補助や「ぐんまクビアカネット」の運用などの対策を行ってきた。守るべきサクラはしっかりと防除しつつ、今後は伐倒についても検討を進めたい。貴重なサクラを未来に残せるよう、市町村と連携して、被害対策にしっかりと取り組んでまいりたい。



星野 寛 自由民主党
(利根郡)



▶ 「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録について

Q 「温泉文化」が国内候補に決定した。これまでの取組を振り返り、温泉文化にかけてきた知事の思いとこれから考えを伺いたい。

A 知事

この群馬発の取組は極めて困難な挑戦と言わってきた。国の文化審議会に「温泉文化」の文化的価値を認めていただいた。今後は3月末までに政府からユネスコに提案書が提出され登録の審査が始まる。1日も早く登録審査が行われるよう、政府に協力したい。温泉王国である群馬県が、日本の温泉文化の中心地、まさに聖地になるよう、温泉文化の価値や魅力を世界に向けて発信してまいりたい。